

2025. 6.12

報道関係者 各位

<配信枚数 2 枚>

【立命館土曜講座のご案内】

2025 年 7 月テーマ

『在りし琉球王国を甦る～琉球人行列絵巻と首里城復元』

開催日程：2025 年 7 月 12 日(土)・19 日(土)

2025 年 7 月の立命館土曜講座は、立命館大学アート・リサーチセンターの企画として『在りし琉球王国を甦る～琉球人行列絵巻と首里城復元』をテーマに、ハイブリッド形式(対面・Zoom ウェビナー)で開講いたします。

どなたでも無料で受講いただけますので、ご関心のある方のご参加をお待ちしております。

記

■立命館土曜講座 7 月テーマ 『在りし琉球王国を甦る～琉球人行列絵巻と首里城復元』

(1)絵巻に息づく琉球使節

日時：2025 年 7 月 12 日(土) 10:00～11:30 ハイブリッド講座(対面・Zoom ウェビナー)

(2)平成と令和の復元首里城について:復元根拠の変遷

日時：2025 年 7 月 19 日(土) 10:00～11:30 対面開催のみ ※後日見逃し配信あり

開催方法：ハイブリッド講座(対面・Zoom ウェビナー)

内 容：別紙参照

聴 講 料：無料

定 員：末川記念会館 180 人、Zoom ウェビナー400 人

※実施前日 12:00 までに要事前申込。定員に達し次第、受付を終了。

申込方法：立命館土曜講座の WEB サイトよりお申し込みください。

<https://www.ritsumeit.ac.jp/doyo/>

主 催：立命館大学衣笠総合研究機構

そ の 他：文字通訳を配信しています。

以上

本リリースの配布先：京都大学記者クラブ

●内容についてのお問い合わせ先

立命館大学衣笠総合研究機構 担当:武田・堀

TEL.075-465-8224

別 紙

■立命館土曜講座 7 月テーマ『在りし琉球王国を甦る～琉球人行列絵巻と首里城復元』

(1)絵巻に息づく琉球使節

日時：2025 年 7 月 12 日(土) 10:00～11:30

講師：立命館大学衣笠総合研究機構 准教授 サイフマン トラビス Seifman Travis

講師による内容紹介：

琉球王国は 17－19 世紀をかけて、使節を 17 回江戸へ派遣した。その使節は江戸城内、徳川将軍とお目見え儀礼を通して、琉球を島津家の家臣みたいな位置、そして徳川幕府に対する朝貢国みたいな位置、との政治関係を再確認するためのことであった。江戸を初め、日本の様々な城下町や宿場町、または港町に、その使節団は一般町民も見えた行列も行って、琉球の文化性質や政治的な位置を見せた。

今回は、その行列を描く海外所蔵の絵巻数点を紹介して、行列そのものを儀礼の種類としても軽く論じる。

最後に、琉球使節と京都との関係について触れる。

(2)平成と令和の復元首里城について:復元根拠の変遷

日時：2025 年 7 月 19 日(土) 10:00～11:30

講師：京都大学 大学院人間・環境学研究科 名誉教授 伊従 勉

講師による内容紹介：

はじめに 首里城の「城」とは中国都市「城市」の京城・皇城(王府城)・宮城のうちの「王府城」相当

1. 琉球の三山グスクの中の首里城:琉球国の明朝入貢と冊封

2. 中山王府城としての首里城略史

[以下、本題の復元根拠の概要の説明に入る]

3. 首里城を詳しく観察した人々:明清朝派遣中山王冊封使たち

4. 首里城跡発掘調査(1985-2018)があきらかにした遺構

5. 戦前指定の国宝建造物「沖縄神社拝殿」関係の現存資料

6. 平成の首里城復元の根拠

7. 令和の再建時に登場した新たな根拠と学術上の課題

おわりに 滅失文化財とその復元の諸課題

■立命館土曜講座

1946 年から続く、市民向けの無料公開講座。故・末川博名誉総長の「学問や科学は国民大衆の利益や人権を守るためにある。学問を通して人間をつくるのが大学であり、大衆とともに歩く、大衆とともに考える、大衆とともに学ぶことが重要」との思いのもとに、大学の講義を市民に広く開放し、大学と地域社会との結びつきを強めることを目指しています。

<WEB サイト> <https://www.ritsumeai.ac.jp/doyo/>